

カリキュラム区分		3カリ			シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位	
		学年	学期						
専門共通	M302	1年	前期	医療技術科学	選択	医療技術科学研究方法論 I Methodology for Medical Technology I	30	2	
担当教員									
則松 良明	山口 文徳	高田 智世		石田 也寸志					
関連するDPキーワード（看護学専攻）									
	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。								
	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。								
	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。								
	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）									
○	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。								
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。								
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。								
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
授業目的									
医学検査における新規技術を用いての研究立案(研究課題の発想・絞り込み、研究方法・データ分析方法の策定と倫理的配慮)と実施、結果のまとめ、さらに成果の発表や論文作成までの一連のプロセスに必要な研究能力が身につけることができるようになる。									
到達目標（授業目標）									
①病理細胞診検査について、新規検査技術を用いた研究の方法論(研究課題の発想、研究方法・データ分析方法の策定、研究成果の論文作成)が説明できる。									
②医学統計について、その基本と統計解説方法が説明できる。									
③画像検査による最新の診断技術と方法論(データ解析法、診断方法や研究方法、利点・問題点)が説明できる。									
④生体試料を用いた最新の診断技術と方法論(データ解析法、診断方法や研究方法、利点・問題点)が説明できる。									
⑤遺伝子学的検査について、最新の診断技術と方法論(がんゲノムの解析方、研究方法と課題、倫理的問題)が説明できる。									
授業計画（項目・内容と方法・担当者）									
1回	病理細胞診検査①: LBC法を診断ツールとして用いた子宮体癌診断に関する研究課題・研究方法・データ分析方法の策定について講義する。(担当:則松良明)								
2回	病理細胞診検査②:LBC法を診断ツールとして用いた子宮体癌診断の今後の発展について講義する。(担当:則松良明)								

備考						